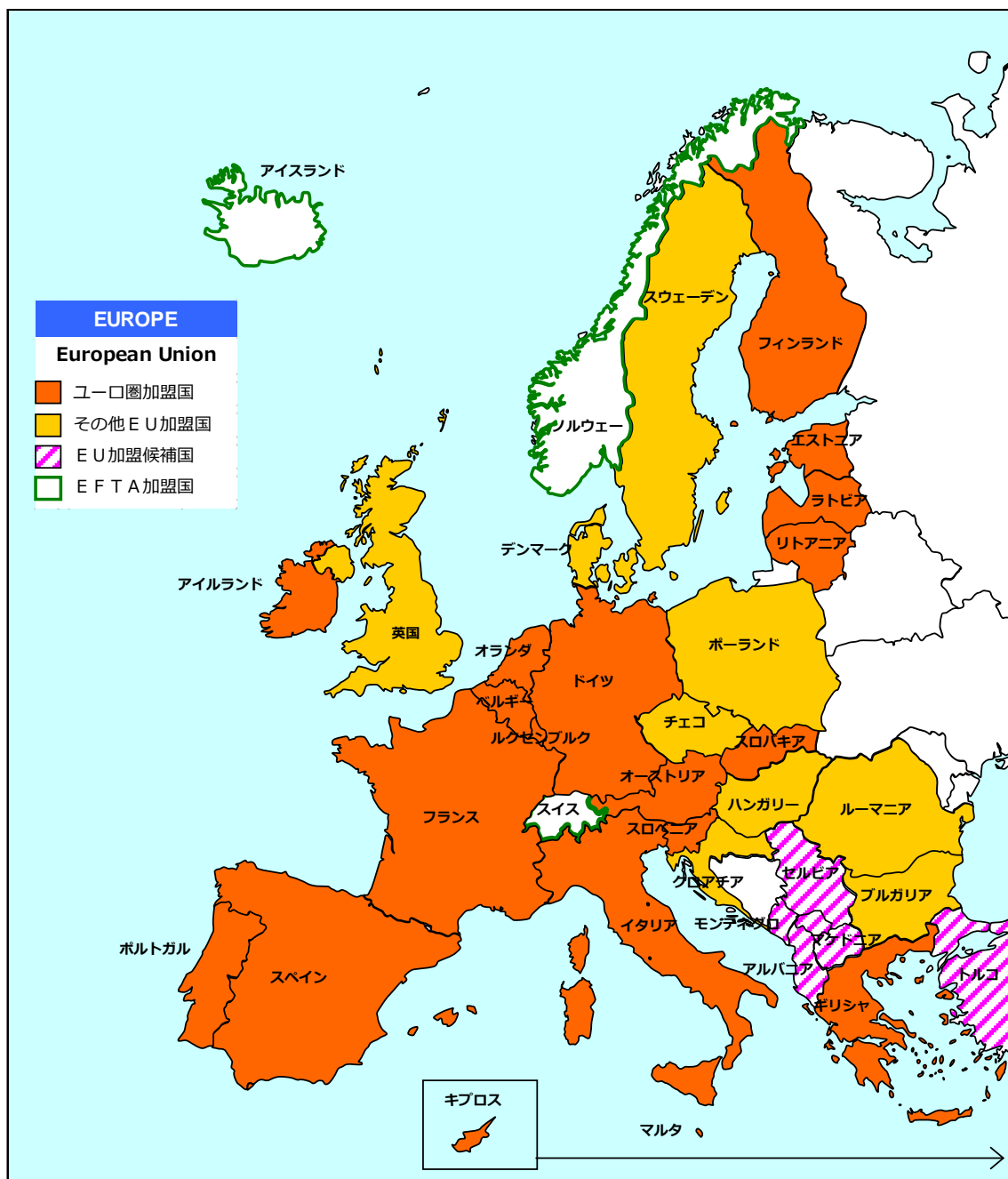


2016年7月22日 全13頁

欧州経済アップデート (2016.7)

経済調査部
主席研究員 山崎 加津子

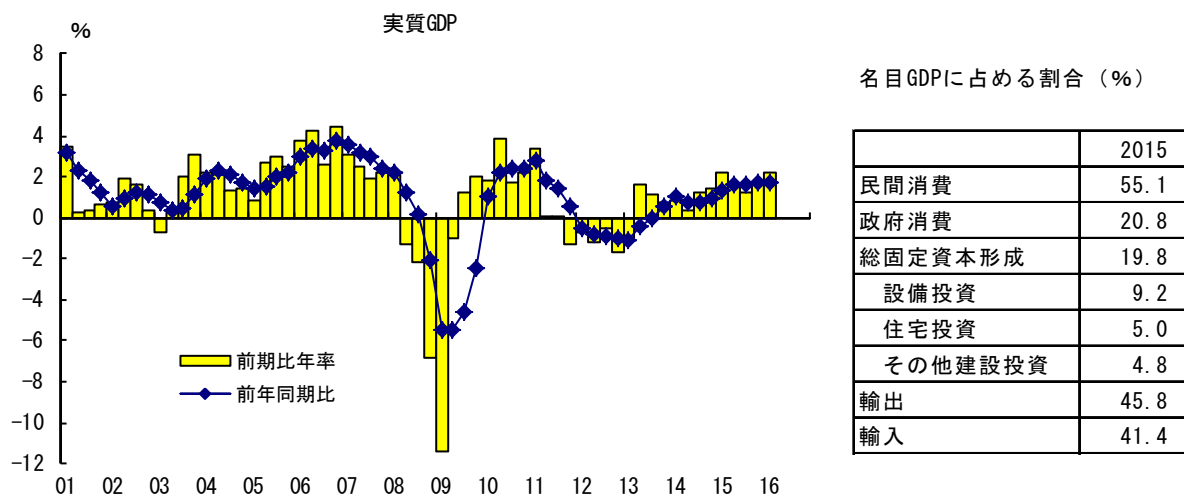


出所：三角形「白地図専門店」サイトより大和総研作成

図表作成：リサーチ業務部データバンク課

ユーロ圏 GDP

- 16年Q1まで12四半期連続で前期比プラス成長が継続
- 内需が牽引する一方、純輸出の前期比寄与度は3四半期連続でマイナス
- 15年Q4と16年Q1は設備投資と建設投資がそろって拡大した



ユーロ圏の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1
実質GDP	-0.3	0.4	0.3	0.2	0.2	0.1	0.3	0.4	0.6	0.4	0.3	0.4	0.6
個人消費	-0.3	0.2	0.3	0.2	0.0	0.2	0.4	0.6	0.4	0.3	0.5	0.3	0.6
政府消費	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.1	0.5	0.3	0.3	0.5	0.4
総固定資本形成	-2.0	0.8	0.9	0.3	0.4	-0.4	0.5	0.5	1.5	0.1	0.5	1.4	0.8
設備投資	-1.4	1.0	1.3	1.4	0.1	0.5	1.1	0.7	1.8	1.1	0.8	1.6	0.9
住宅投資	-2.3	0.6	0.3	-0.9	0.9	-1.6	0.0	0.2	1.1	-0.5	0.4	1.1	0.8
その他建設投資	-2.7	0.6	0.9	-0.5	0.4	-1.1	-0.3	0.2	1.4	-1.4	0.0	1.5	0.6
輸出	0.3	1.2	0.5	1.1	0.8	1.0	1.6	1.2	1.5	1.6	0.4	0.7	0.4
輸入	0.1	1.1	1.3	0.6	1.1	1.1	1.5	1.1	2.3	0.9	1.3	1.4	0.7

ユーロ圏の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

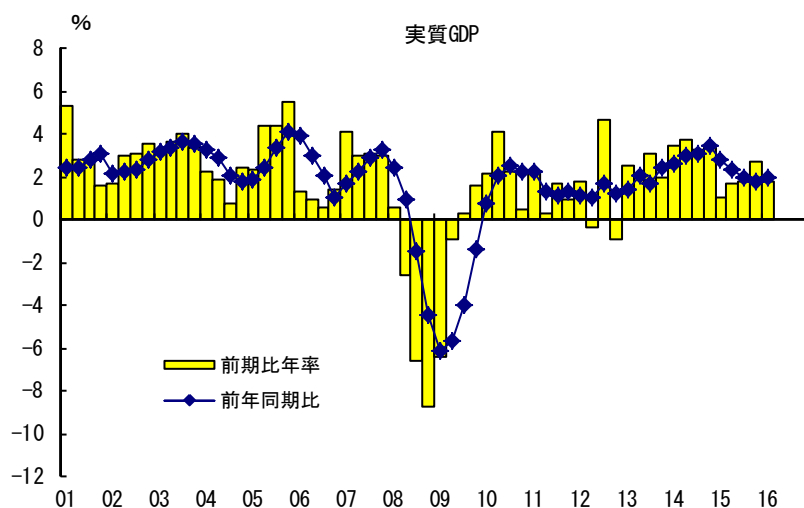
	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1
実質GDP	-0.28	0.40	0.28	0.18	0.21	0.10	0.30	0.37	0.55	0.38	0.32	0.42	0.55
個人消費	-0.15	0.12	0.14	0.10	0.00	0.11	0.24	0.31	0.22	0.18	0.29	0.17	0.30
政府消費	0.02	0.01	0.04	0.04	0.05	-0.04	0.07	0.03	0.11	0.06	0.07	0.10	0.08
総固定資本形成	-0.39	0.16	0.18	0.06	0.08	-0.08	0.09	0.09	0.30	0.01	0.10	0.29	0.17
設備投資	-0.14	0.10	0.12	0.13	0.01	0.05	0.11	0.07	0.18	0.11	0.08	0.16	0.10
住宅投資	-0.12	0.03	0.02	-0.04	0.04	-0.08	0.00	0.01	0.06	-0.02	0.02	0.05	0.04
その他建設投資	-0.14	0.03	0.04	-0.03	0.02	-0.05	-0.02	0.01	0.07	-0.07	0.00	0.07	0.03
在庫変動	0.18	0.02	0.22	-0.24	0.17	0.07	-0.20	-0.13	0.17	-0.25	0.22	0.14	0.10
輸出	0.11	0.52	0.23	0.46	0.36	0.44	0.73	0.53	0.70	0.73	0.18	0.31	0.20
輸入	-0.04	-0.42	-0.51	-0.24	-0.44	-0.46	-0.62	-0.47	-0.93	-0.36	-0.53	-0.59	-0.32
純輸出	0.08	0.10	-0.28	0.22	-0.09	-0.02	0.10	0.06	-0.24	0.37	-0.35	-0.28	-0.12

出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

*このレポートに掲載しているユーロ圏データに関するおことわり
 ユーロ圏とは、EU加盟国のうち単一通貨ユーロを導入し、金融政策を欧州中央銀行（ECB）に委ねている国々のこと。15年1月にリトアニアが19番目の加盟国となった。このレポートに掲載されているユーロ圏のデータは、14年以前のデータもすべて19カ国ベースである（Eurostatが19カ国ベースの遡りデータを公表）。

英国 GDP

- 16年Q1まで13四半期連続で前期比プラス成長が継続
- 内需、中でも個人消費が経済成長を牽引している
- 15年Q4と16年Q1の総固定資本形成は政府部門と企業部門がそろって落ち込んだ



名目GDPに占める割合 (%)

	2015
民間消費	65.0
政府消費	19.3
総固定資本形成	16.9
政府部門	2.6
企業部門	9.6
民間住宅投資	3.3
輸出	27.3
輸入	29.4

英国の需要項目別GDP成長率 (前期比 : %)

	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1
実質GDP	0.6	0.5	0.8	0.5	0.8	0.9	0.8	0.8	0.3	0.4	0.4	0.7	0.4
個人消費	0.1	0.3	0.8	0.6	0.2	0.5	1.3	-0.2	0.8	0.8	0.6	0.6	0.8
政府消費	0.3	-0.4	0.2	0.8	1.5	0.2	0.2	-0.2	0.4	1.0	0.3	0.2	0.5
総固定資本形成	-2.5	1.7	3.4	2.6	2.8	-1.6	1.4	0.7	1.5	1.2	0.5	-1.0	-0.1
政府部門	-2.4	2.7	2.1	2.6	16.1	-20.5	9.1	-0.6	2.0	-2.0	-0.2	-1.8	-2.7
企業部門	-2.4	-0.1	3.5	1.8	-3.4	6.0	-1.3	1.9	2.1	0.5	1.6	-2.2	-0.6
民間住宅投資	0.7	6.4	2.4	2.8	10.9	-8.1	4.6	-0.9	1.6	4.9	-2.7	1.7	1.6
輸出	0.1	4.8	-2.6	-1.3	2.6	-0.3	-1.3	4.0	2.1	-0.3	-0.2	3.2	-0.4
輸入	-0.5	4.7	-0.1	1.7	-0.1	-1.3	1.1	2.8	3.8	-2.1	1.3	2.5	0.1

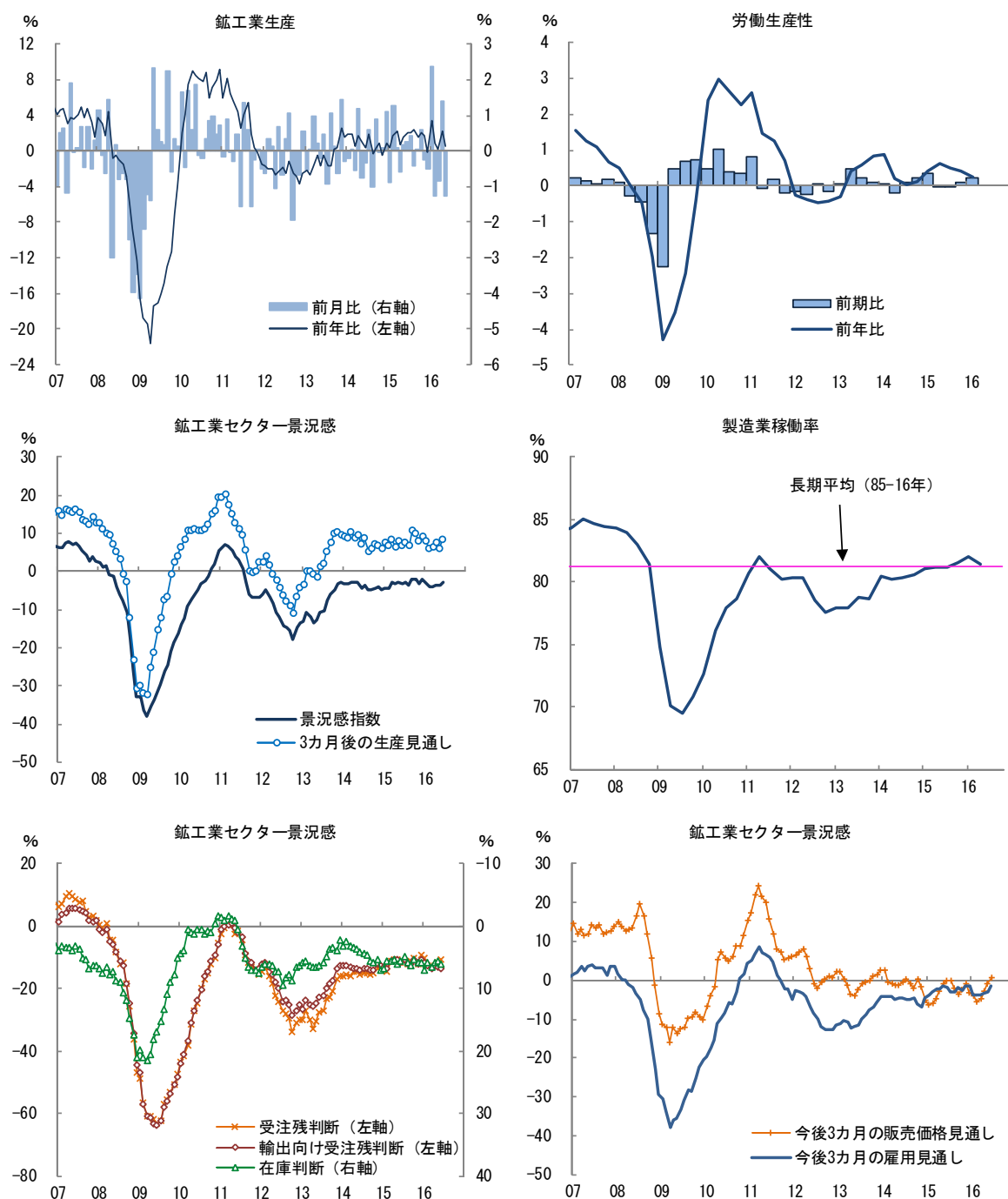
英国の需要項目別GDP寄与度 (前期比 : %)

	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1
実質GDP	0.63	0.52	0.76	0.49	0.85	0.93	0.81	0.83	0.26	0.42	0.44	0.68	0.45
個人消費	0.04	0.18	0.50	0.42	0.16	0.31	0.84	-0.10	0.52	0.51	0.42	0.37	0.50
政府消費	0.07	-0.08	0.04	0.15	0.30	0.04	0.05	-0.05	0.09	0.20	0.06	0.04	0.09
総固定資本形成	-0.40	0.27	0.55	0.43	0.46	-0.27	0.24	0.11	0.25	0.21	0.09	-0.16	-0.01
政府部門	-0.06	0.07	0.05	0.07	0.44	-0.64	0.22	-0.02	0.05	-0.05	-0.01	-0.05	-0.07
企業部門	-0.23	-0.01	0.32	0.17	-0.32	0.55	-0.12	0.18	0.20	0.05	0.15	-0.22	-0.06
民間住宅投資	0.02	0.18	0.07	0.09	0.34	-0.28	0.15	-0.03	0.05	0.16	-0.09	0.06	0.05
在庫変動	-0.34	0.54	0.19	0.24	-0.68	0.52	0.43	0.61	-0.12	-1.13	0.30	0.26	-0.23
輸出	0.02	1.42	-0.79	-0.39	0.75	-0.10	-0.39	1.13	0.63	-0.10	-0.05	0.94	-0.11
輸入	0.15	-1.45	0.03	-0.56	0.04	0.42	-0.36	-0.88	-1.22	0.69	-0.41	-0.81	-0.04
純輸出	0.17	-0.03	-0.76	-0.95	0.79	0.32	-0.75	0.26	-0.59	0.58	-0.46	0.13	-0.15

出所：英国統計局、Haver Analytics データより大和総研作成

ユーロ圏 生産

- 5月の鉱工業生産は前月比-1.3%となり、4月の同+1.4%をほぼ相殺した。エネルギー（同-4.3%）、資本財（同-2.3%）の落ち込みが目立つ
- 6月の鉱工業セクター景況感は5月比でやや改善。構成項目のうち、生産見通しと受注残判断が改善した
- 鉱工業セクターの今後3カ月の販売価格見通しは6月に14年1月以来の水準に上昇

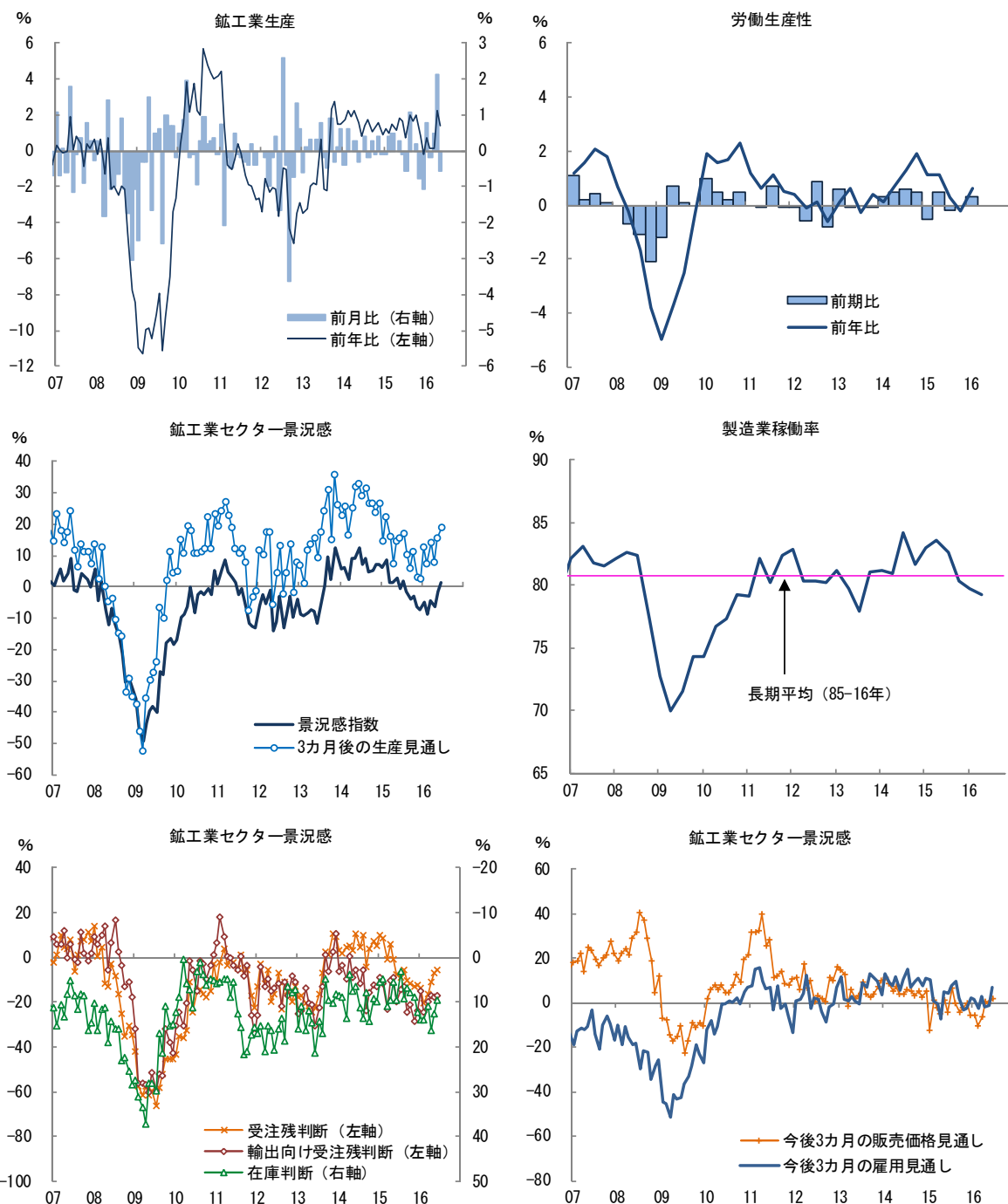


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、ECB、欧州委員会データより大和総研作成

英国 生産

- 5月の鉱工業生産は前月比-0.6%と4月の同+2.1%から小幅反落したが、前年比は+1.4%と堅調な伸びを維持
- 6月の鉱工業セクター景況感は5月に続いて前月比で改善。受注残判断、在庫判断、生産見通しという構成項目がそろって改善した
- 鉱工業セクターの雇用見通しも6月には大幅に改善

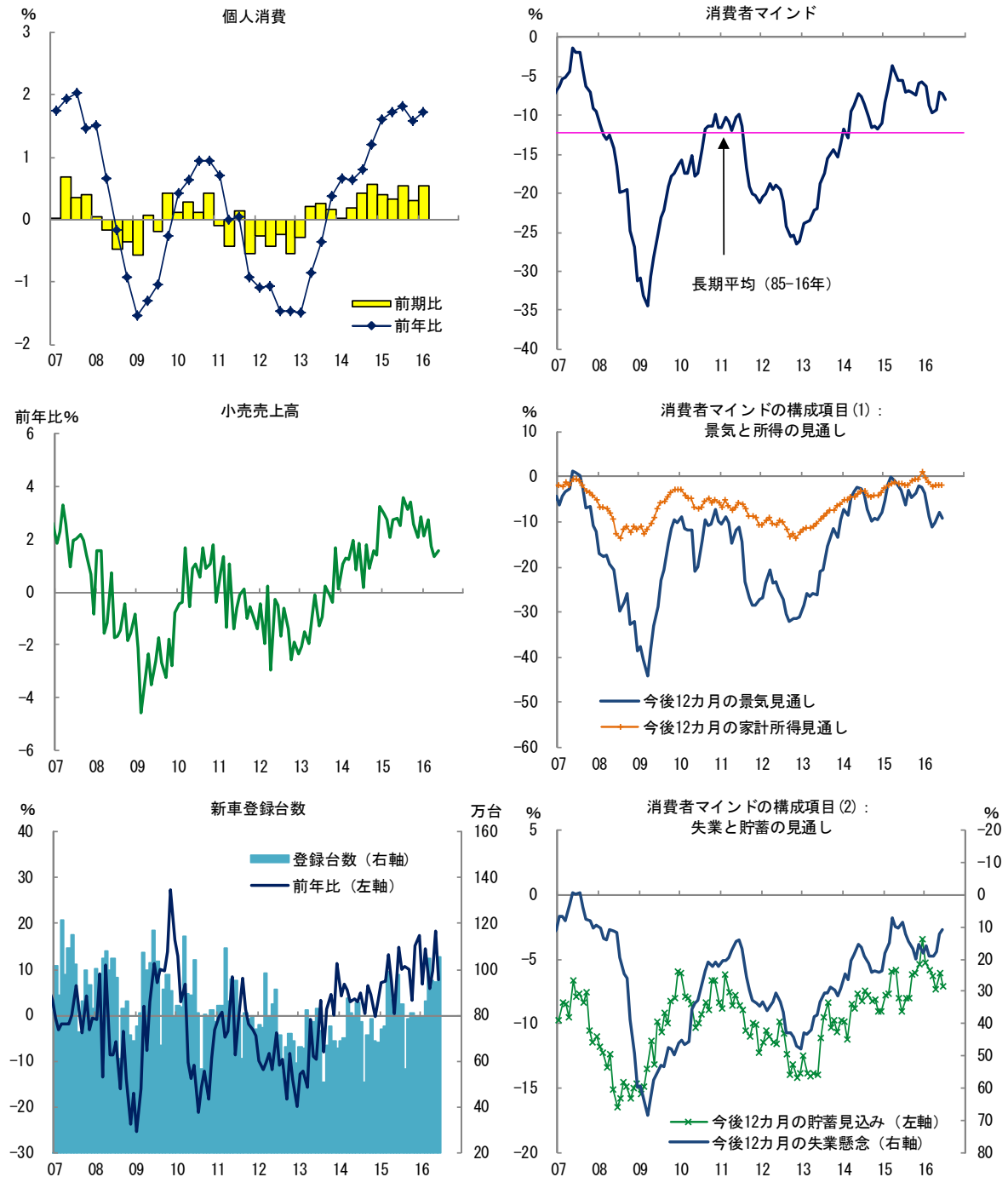


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、Eurostat、欧州委員会データより大和総研作成

ユーロ圏 消費

- 7月の消費者マインド（速報値）は「英国のEU離脱選択後」を知る最初の手ごかりとして注目されたが、6月の-7.2%から-7.9%へ小幅な悪化にとどまった
- 5月の小売売上高は前年比+1.6%と4月の同+1.4%から小幅に加速
- 6月の新車登録台数は前年比+7.9%と5月の同+18.4%から減速はしたが高い伸び

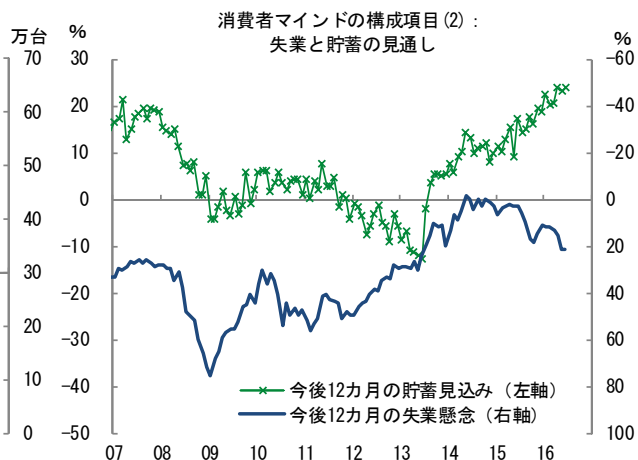
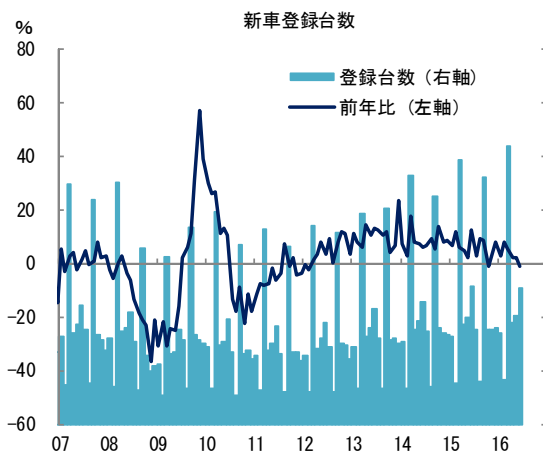
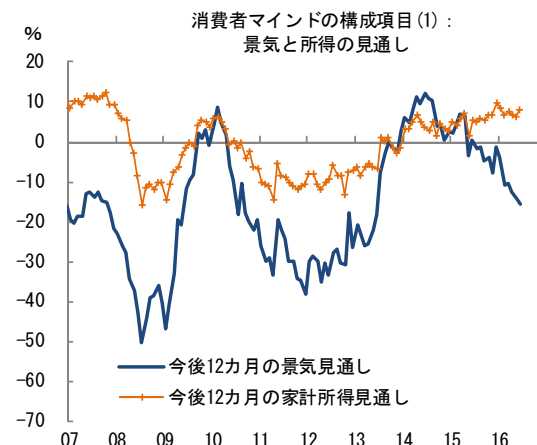
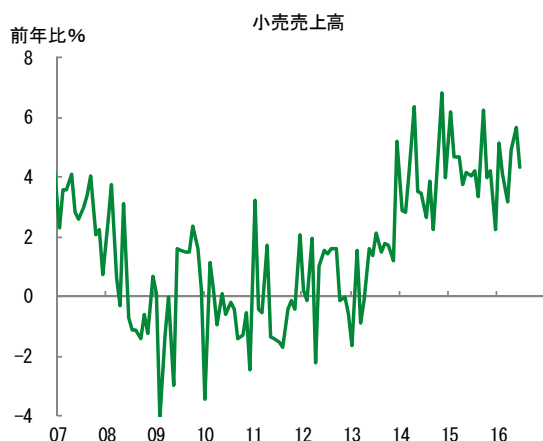
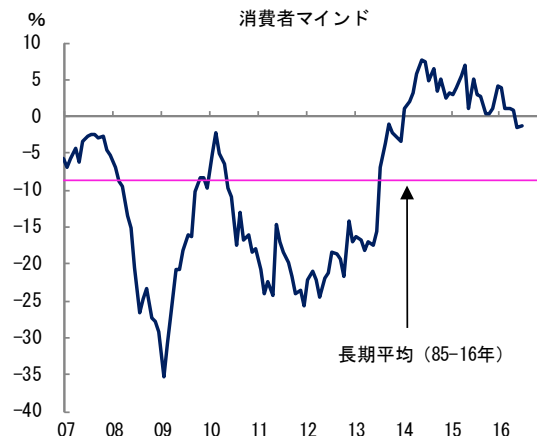
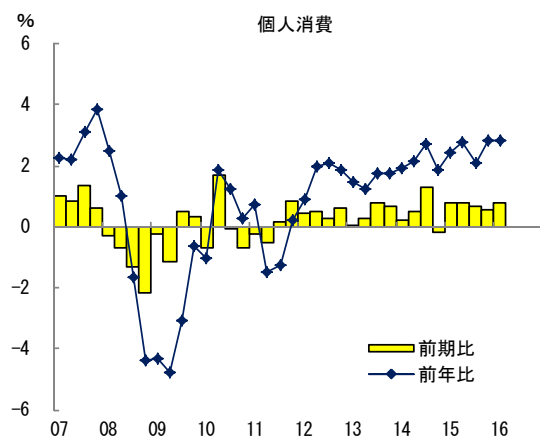


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

英国 消費

- 6月の小売売上高は前年比+4.3%と高い伸びを維持
- 6月の新車登録台数は前年比-0.8%と8カ月ぶりに前年割れ
- 消費者マインドは6月に家計所得見通しの改善で小幅反発。ただし、景気見通しは悪化傾向にあり、貯蓄意欲が高まっている

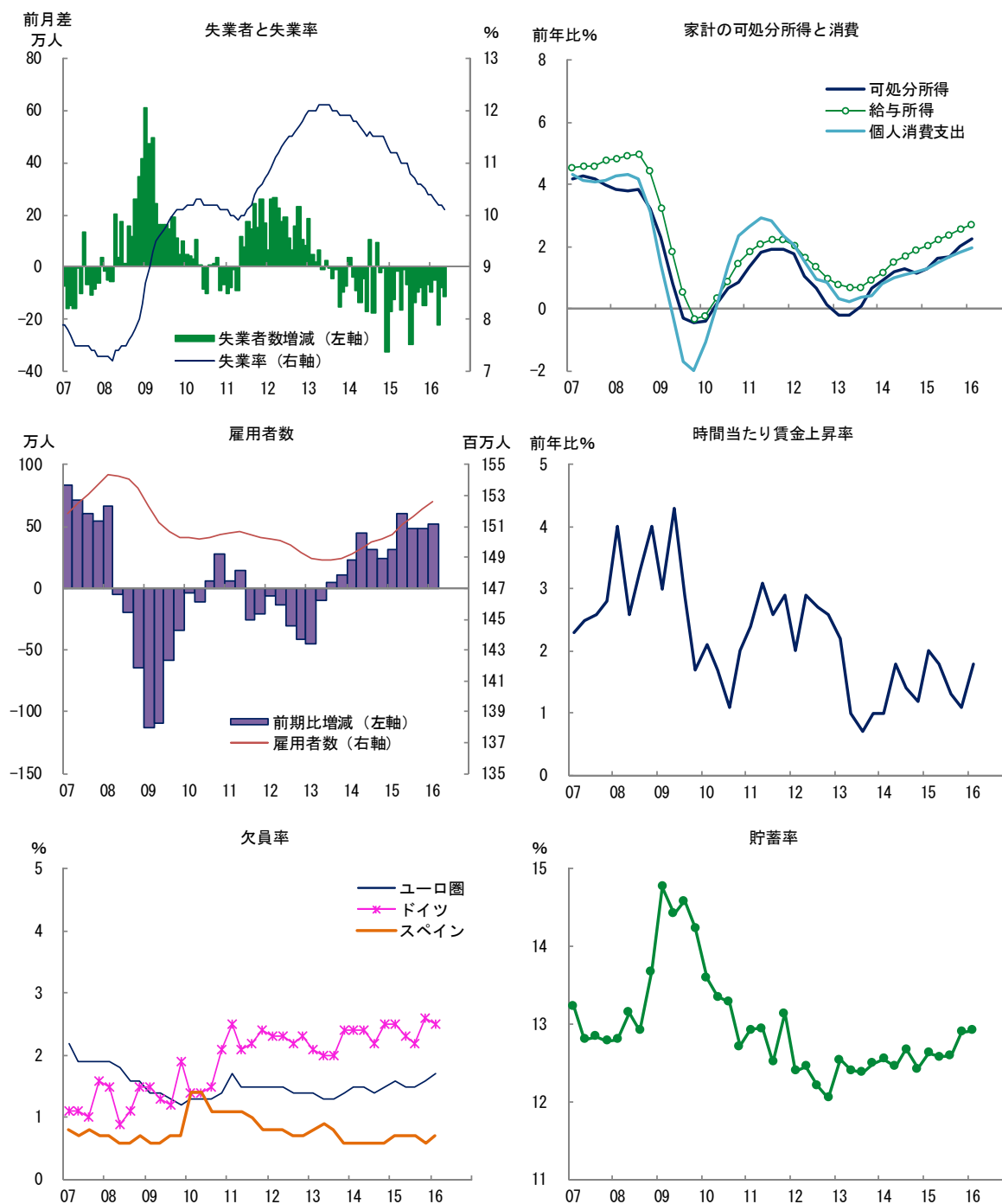


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

ユーロ圏 雇用・所得

- 5月の失業率は11年7月以来となる10.1%に低下
- 5月の失業者数は前月から11.2万人減となり、14年10月以来20カ月連続で減少
- 16年Q1の可処分所得は前年比+2.3%と09年Q1以来の高い伸びとなったが、貯蓄率が12.9%に上昇したこともあり、個人消費支出の伸びは同+2.0%にとどまった

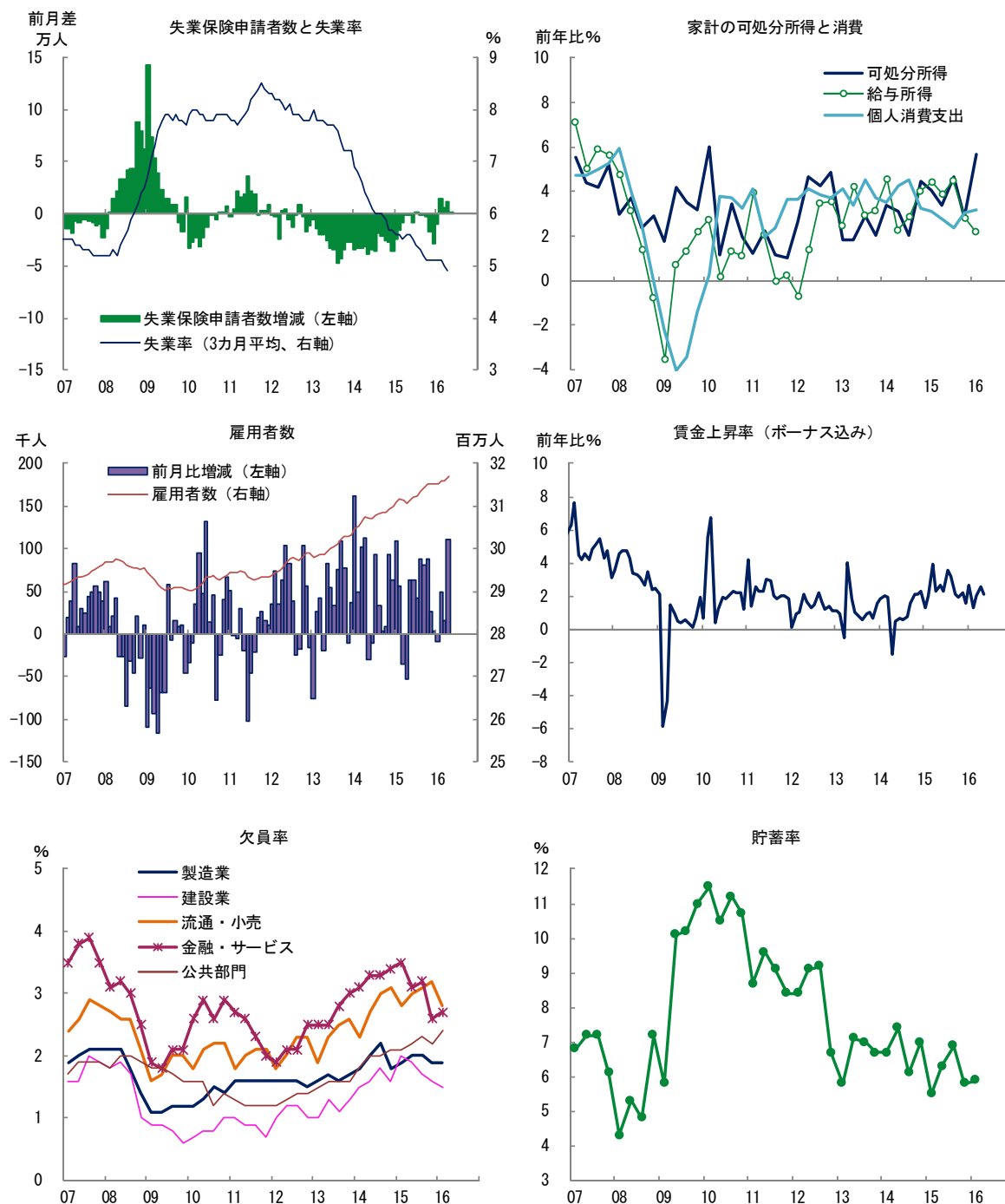


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) * 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、ECB データより大和総研作成

英国 雇用・所得

- 16年3-5月平均の失業率は4.9%へ低下。これは05年8-10月平均以来の低水準である
- 6月の失業保険申請者数は前月から400人増となり、4カ月連続で増加
- 5月の賃金上昇率（ボーナス込み）は前年比+2.1%とやや減速

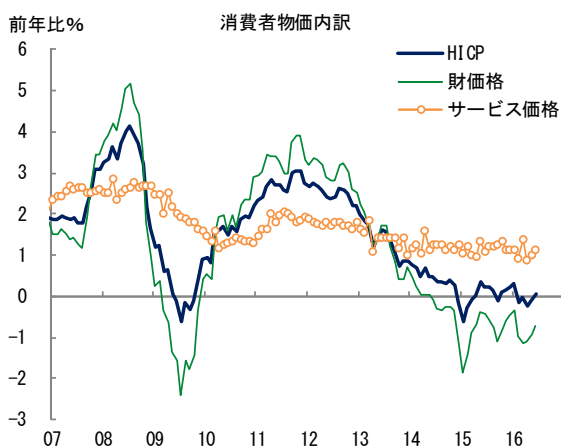
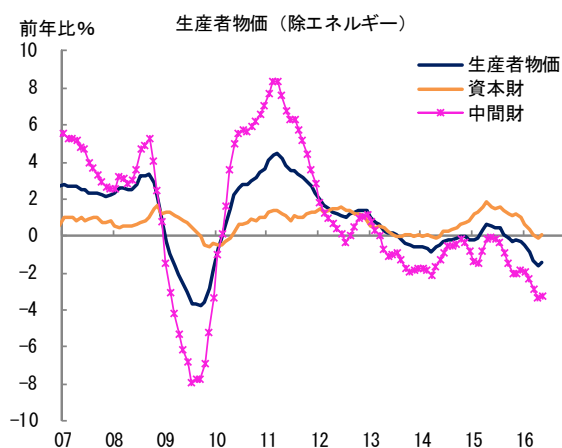


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = $\text{Number of job vacancies} / (\text{Number of occupied posts} + \text{Number of job vacancies}) \times 100$

出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 物価

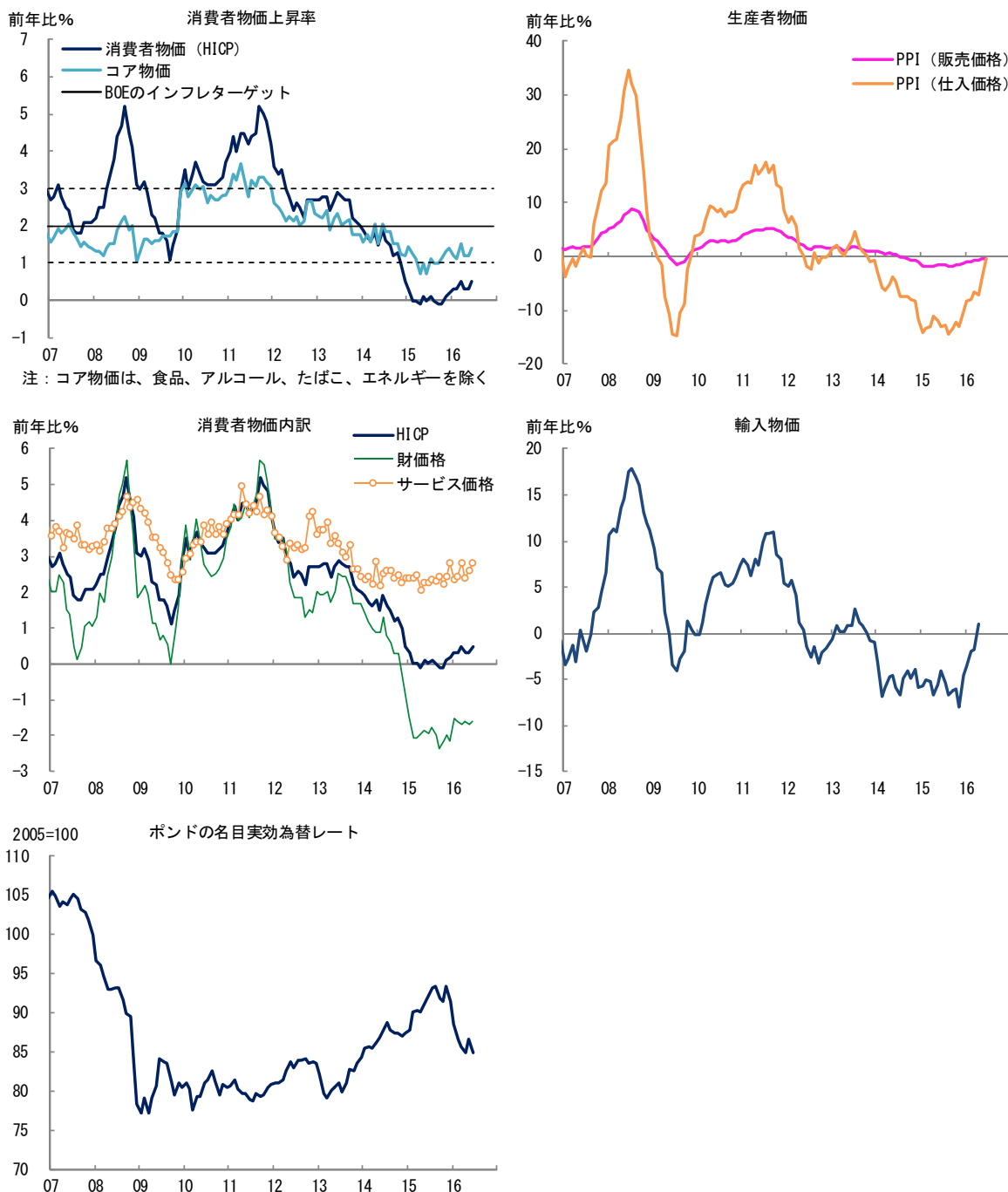
- 6月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+0.1%となり、5カ月ぶりにマイナス圏を脱した
- エネルギー価格が同-6.4%と下落幅が縮小し、またサービス価格が同+1.1%とやや加速したことが貢献した
- ただ、6月の原油価格（北海ブレント）は1バレルあたり48.3ドルと5カ月連続で上昇したものの上昇ペースは鈍っており、ユーロ圏の物価上昇圧力は引き続き弱い



出所：Eurostat、ECB、Haver Analytics データより大和総研作成

英国 物価

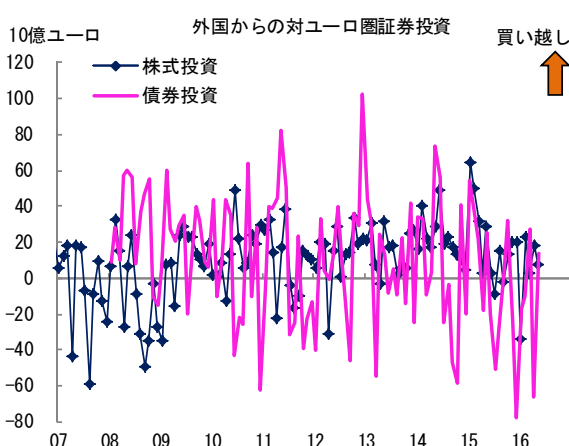
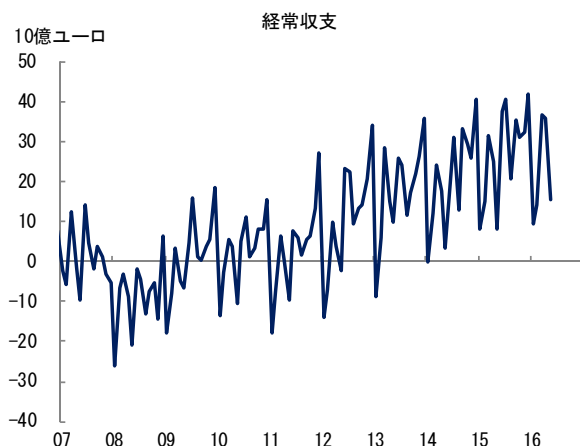
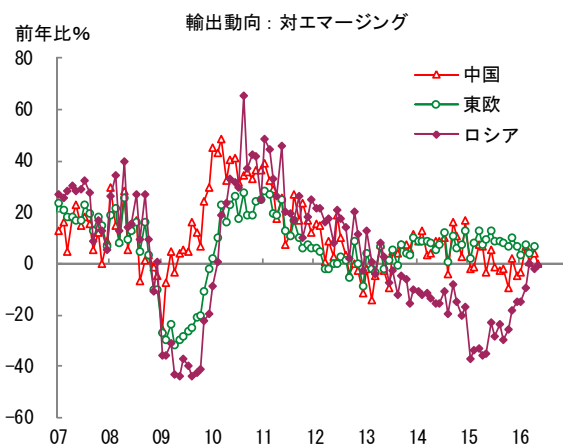
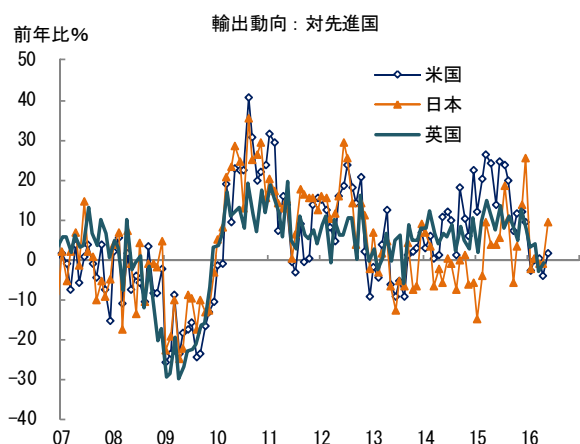
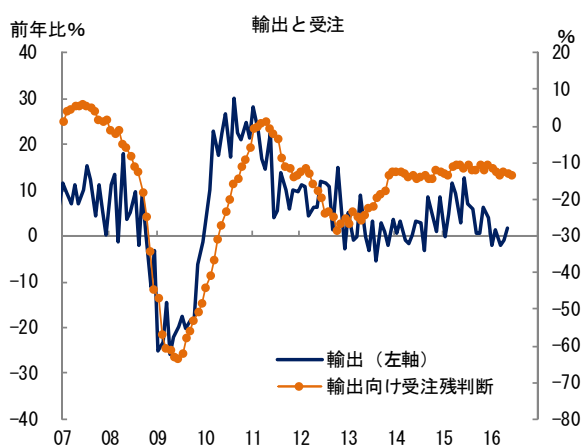
- 6月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+0.5%と5月の同+0.3%からやや加速
- 生産者物価のうち仕入価格が6月は同-0.5%とマイナス幅が縮小。2年半以上にわたった価格下落に歯止めがかかりつつある。輸入物価が上昇に転じた影響が大きいと判断される
- 輸入物価は4月に同+1.0%と上昇に転じたところだが、英国のEU離脱決定で一段とポンド安が進行しており、輸入物価の上昇要因になると見込まれる



出所：Eurostat、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 国際収支

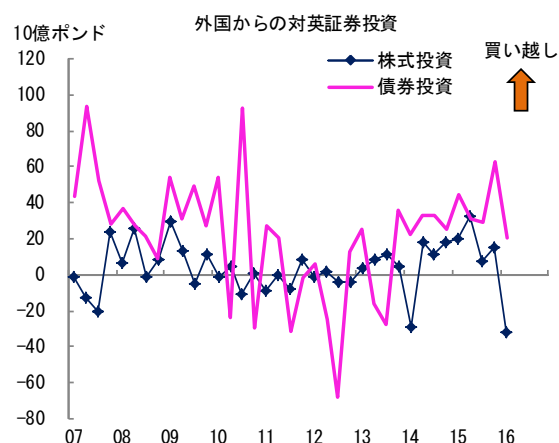
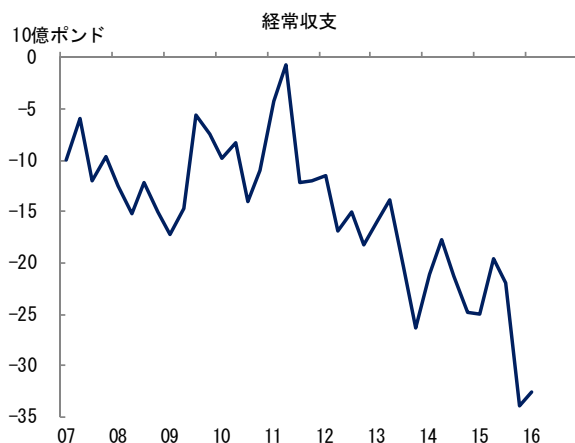
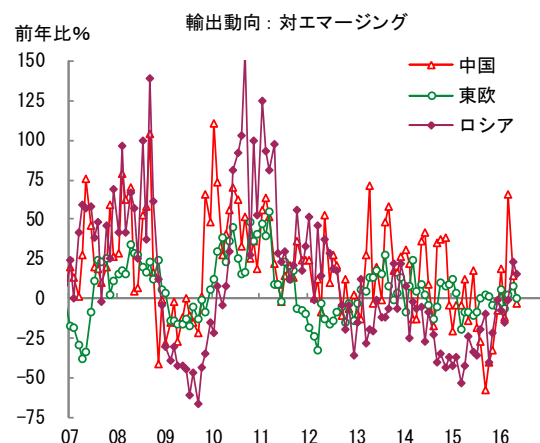
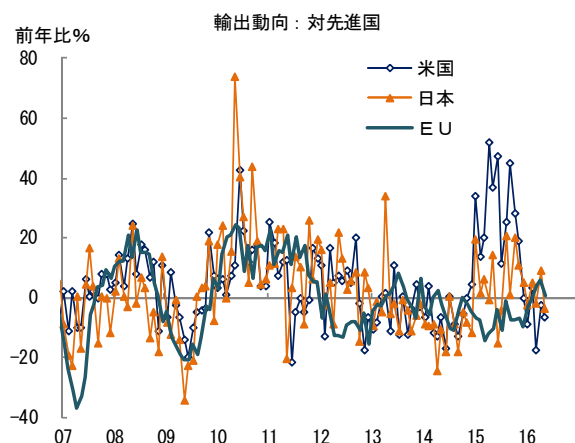
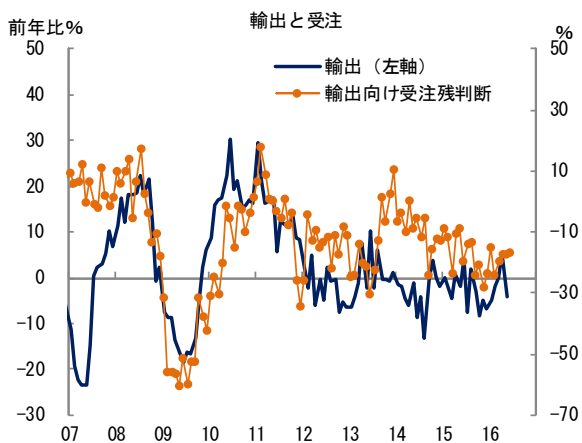
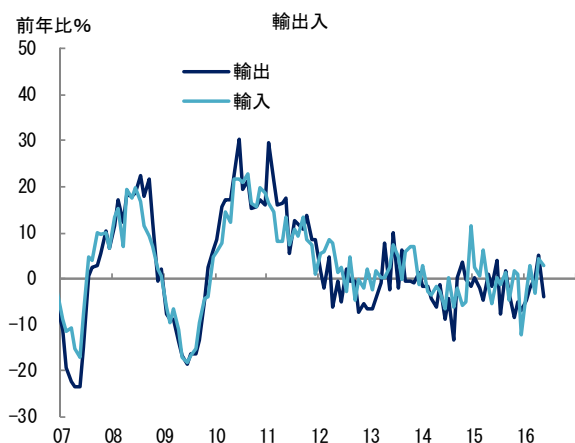
- 5月の輸出は前年比+1.9%と3カ月ぶりに拡大に転じた一方、輸入は同-2.2%と3カ月連続で前年割れ
- 5月の輸出を国別に見ると、米国向けが同+1.6%と拡大に転じ、また中国向けは同+0.2%に減速したもの、プラスの伸びを維持した
- 5月の外国人投資家によるユーロ圏への証券投資は、4月に大幅な売り越したった債券投資が買い越しに転じ、株式投資は4カ月連続の買い越しとなった



出所：Eurostat、ECB データより大和総研作成

英国 国際収支

- 5月の輸出は前年比-4.1%と4月の同+5.2%から一転して前年割れとなった
- 5月の輸出を国別に見ると、4割強を占めるEU向けは同+0.7%と辛うじて拡大したが、中国向けが同-3.6%と縮小に転じ、また米国向けは同-6.6%で3カ月連続の前年割れ
- 外国人投資家による英国への証券投資は、16年Q1に株式投資が2年ぶりに大幅な売り越しとなり、債券投資も買い越し額が縮小した



出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成